

# 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

## 1. 事業概要

当シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中でも基本方針に掲げた「適正な公益目的事業の達成」においては、不慮の売上げ回収不能事象に遭い、一般正味財産の減という遺憾な結果を残しました。

また、「会員の増強と仕事の拡大」においても、団塊世代の集団入会に期待を抱きましたが、予想に反し思い通りの結果を出すことが出来ませんでした。

更に、「安全は全てに優先することの徹底」は、最重要課題として取り組みましたが、結果としては目標を達成することが出来ず、徹底できなかつたことの反省が残りました。

一方で、平成27年度より取組の「高齢者活用・現役世代 雇用サポート事業」においては、人材派遣における、就業延人員の目標値を上回る実績を達成することが出来ました。

## 2. 就業機会提供事業

シルバー人材センターは、家庭、民間企業、官公庁等の高齢者にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易な仕事を希望した会員に対し、請負又は委任、及び一般労働者派遣の仕事を提供したが、有料職業紹介による提供は実績が無かつた。

仕事は、除草、草刈り、庭木剪定、清掃等地域社会の日常生活に密着したものであつた。発注者には制限や条件を設けず、誰でも仕事を依頼出来るものであつた。

センターは、仕事の内容と実績に応じて受託先から事業収入(配分金、事務費、材料費等)を得て、仕事をした会員に配分金を支払つた。会員に対する就業機会の提供に当たっては、会員の希望、知識、経験等を考慮しながら、就業機会を得られるよう、グループ就業やローテーション就業などを進め、仕事の分かち合いに配慮した。

### 《事業の実績値》

・会員数	215人
・年間就業人員	192人
・就業率	89%
・延べ就業人員	17,742人
・契約件数	1,040件
・契約金額	85,030千円

## 3. 就業機会確保事業

就業機会提供事業と関連し、会員が仕事に必要な知識・技能を得るための機会作りや会員が安全に仕事をするための環境を作つたほか、シルバー人材センター事業の地域社会へのPR及び会員のための仕事の開拓を行った。

#### 4. 安全・適正対策推進事業

会員が仕事をする上で必要な安全に関する知識や地域社会のニーズに対応した技術を習得出来るように講習会を実施したほか、会員と安全・適正就業推進員で構成された安全・適正就業推進委員会を設置し、会員が安全に仕事をする事が出来るように、委員による安全パトロールを実施し、作業中の安全が確保されているか確認したとともに、センターの受託した仕事が会員にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易なものであったか、また、就業機会が平等に与えられていたかについて、監視した。

#### 5. 普及啓発事業

チラシ、広報紙及び新聞広告等により情報を発信し、また、平川市各所における清掃奉仕活動を実施した。

また、一人暮らし家庭の雪下ろし等のボランティア活動に参加するも、出勤機会は無かったが、シルバー人材センター事業を広く地域社会にPRしたとともに、センターへの入会を促進した。

#### 6. 就業開拓提供事業

会員にふさわしい仕事の開拓をするために、役員が民間企業や官公庁等を訪問したほか、会員の希望に沿った仕事を提供出来るように、全会員を対象として就業希望について懇談を行った。

以上